

報道機関各位

## Press Release

株式会社四国総合研究所

### 当社の組織培養技術を活用した マリーゴールド種子の量産化技術の確立について

(株)四国総合研究所（代表取締役社長 澤田佳孝）は、四国電力グループの一員として、電気・エネルギー分野を中心に多岐にわたる研究開発に取り組む一方、地域のお客さまが抱える様々な課題について、保有する技術を活用した解決支援も行っております。

このたび、こうした取り組みの一環として、住宅設備商社の(株)小泉（東京都杉並区 代表取締役社長 長坂剛）が土壌浄化用に独自に開発し、切り花用としても販売されているマリーゴールドの新品種「レメディアパール」の効率的な種子の量産方法を当社が確立しましたのでお知らせいたします。

マリーゴールドに限らず、一般的に性質の異なる品種を交配させるとF1品種と呼ばれる均一で高品質な交配品種（雑種第1代）が誕生します。一方、F1品種から種子を採って雑種第2代を栽培すると、揃いが悪く形質はばらついてしまいます。このため、市場に流通している花や野菜の多くは、品質の揃ったF1品種となっています。

しかしながら、効率的なF1品種の種子生産には、除雄（おしべの除去作業）が不要な雄性不稔株（花粉のない株）が不可欠であり、雄性不稔株を作出するためには交配と選抜の反復作業に多大な時間と労力を要するため、種子の生産者にとっては効率的な獲得方法の確立が課題でありました。

今回用いた方法は、ばらつきのある雑種第2代の中から親と同じ形質の雄性不稔系統を選抜し、組織培養でクローンを増やし継続的に系統維持を図るものです。この方法は、従来方法に比べて交配と選抜に要する時間と労力、コストが大幅に省かれることから、全国の種子生産者の事業活動に大きく貢献していくことが期待されます。

当社といたしましては、今後とも様々な技術や商品開発、課題解決支援等を通じて、四国地域はもとより、国内の産業や経済の発展に貢献してまいります。

以上

【本件照会先】 確かな未来へ “わくわく” を形に



四国総合研究所

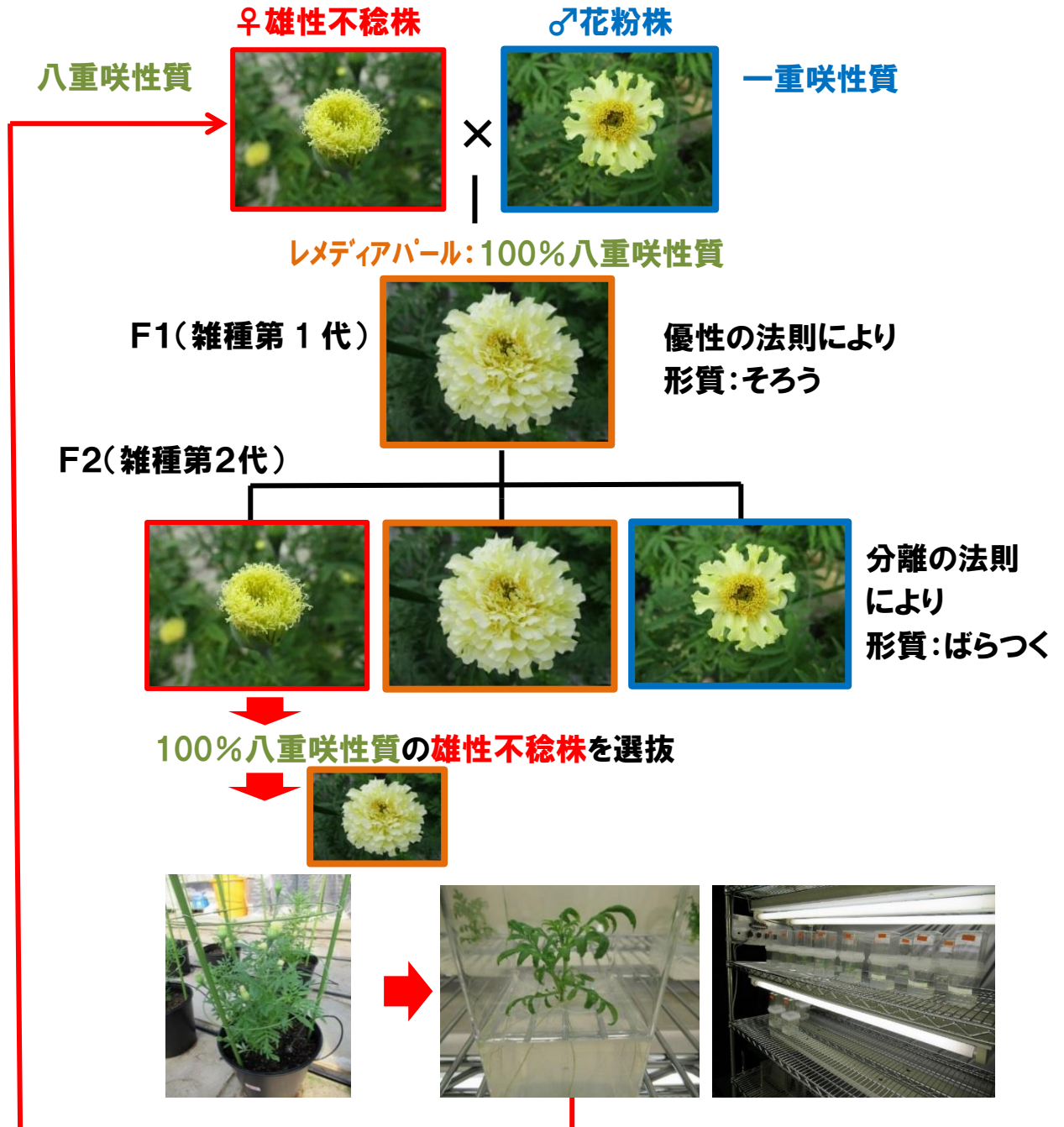
総務部（担当：山本）

〒761-0192 高松市屋島西町 2109 番地 8

TEL：050-8802-4617（直通）  
087-843-8111（代表）

## 新たな量産支援の概要

### ●メンデルの遺伝法則を活用した効率的な選抜育種と組織培養による系統維持



(参考) メンデルの遺伝の法則

「優性の法則」：雑種第一代では、優性の形質のみ現れ、劣性の形質は現れない。

「分離の法則」：雑種第一代で現れなかった劣性の形質が、雑種第二代で分離して現れる現象をいう。

## 株式会社小泉の概要

(平成30年6月現在)

|      |   |
|------|---|
| 企業名  | 株式会社小泉  |
| 事業内容 | 住宅設備機器商社および関連事業   |
| 所在地  | 〒167-8555 東京都杉並区荻窪4-32-5  |
| 連絡先  | 03-3393-2511 (代表)   |
| URL  | <a href="http://www.koizumig.co.jp">http://www.koizumig.co.jp</a>   |
| 代表者  | 代表取締役社長 長坂 剛  |
| 創業   | 明治43年8月   |
| 設立   | 昭和22年4月18日  |
| 資本金  | 29億7,740万円 (関連会社を含む)  |
| 年商   | 1,410億円 (関連会社を含む)   |
| 従業員数 | 2,280人 (関連会社を含む)  |
| 備考   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・レメディアパールは、平成15年に国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) の委託開発事業として開発に着手</li> <li>・完成までの期間は5年程度で、7世代の交配により開発に成功</li> <li>・平成22年4月から販売を開始</li> </ul> |

(参考) マリーゴールド「レメディアパール」

住宅設備事業を営む株式会社小泉が、汚染土壌浄化を目的に独自に開発したF1品種のマリーゴールドです。

小輪の淡い黄色の花となるほか、従来品種と比べて2倍以上の草丈があり、**重金属であるカドミウム吸収能力が通常よりも1.5倍～2倍程度高いのが特徴**です。

現在、切り花用にも利用されていますが、今後、土壌汚染が深刻な中国等における土壌浄化事業を推進する上で、中心的な役割を果たす花として期待されています。



以上